

公共施設再配置検討  
プロジェクトチーム

# プロジェクトニュース Project News 第1回

お問合せ <事務局>東浦町役場 企画政策課 施設マネジメント係  
<住所>〒470-2192 東浦町大字緒川字政所 20 番地  
<TEL>0562-83-3111(代表) <FAX>0562-83-9756

実施日 午後1時30分~午後2時30分  
令和3年5月18日(火)  
本庁舎 西会議室1 にて



## 1 公共施設再配置検討プロジェクトチームって何?

令和4・5年度に、『東浦町再配置計画』を策定する予定です。そのため、公共施設に関する職員で再配置計画の素案を検討し、再配置計画策定の材料の1つとします。

## 2 第1回目は何をしたの?

各職員に知識を深めてもらうため、東浦町公共施設等総合管理計画をもとに、東浦町の公共施設に関する現状や公共施設の考え方で大切な点をお話ししました。



## 3 どんな現状なの?

(1) 東浦町には

**62施設(178棟)**の公共施設があります。  
延べ床面積は**約133,900㎡!**その内、  
**約40%が建築から40年以上経過**しています。

(2) 今ある施設を一定の条件のもと、同じ姿のまま維持管理や更新を行った場合、いくらかかるかを推計しました。

<推計結果> 2015年度~2074年度の60年間で  
約681億2,000万円が必要。  
年間にすると**約11億3,000万円**が必要

町で公共施設(建物)の更新・修繕にかけた  
経費(過去10年)の年平均は**約3億8,000万円!**

つまり、「今」ある施設を「同じ姿のまま」  
更新・修繕しようとする...  
毎年、**約7億5,000万円**が不足します。



## 4 ライフサイクルについて

お金がかかるのは建物の更新や修繕だけではなく、日々の光熱水費、保全費や管理費などがかかってきます。

ライフサイクルコストイメージ



ライフサイクルコストイメージ図のように、建設から解体まで様々な費用が掛かります。その中でも運用段階が多くの割合を占めることから、氷山に例えられます。

そのため、これらの費用を抑えることを考えていく必要があります。

## 5 どんな課題があるの?

- 高度経済成長期に集中的に建設された施設が今後一斉に更新時期を迎える
- 建物だけではなく、インフラも数多く保有している
- 人口減少、少子高齢化により歳入は減っていくと予想される
- 扶助費の増加による投資的経費の減少
- でも、安心・安全なサービスを提供しなければならない

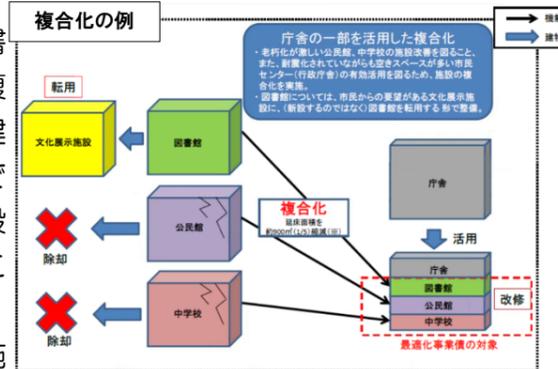
コストを抑える工夫や仕組みが必要



## 6 他市町の事例

右の図の例では、図書館と公民館と中学校を複合化しました。また、建物として引き続き使用できる図書館は、文化施設に転用し、活用を図ることができました。

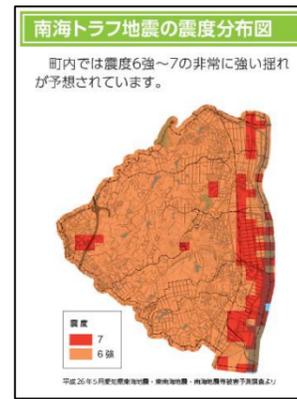
これにより、一連の施設の延床面積を約半分に縮減しています。



## 7 立地場所について

東浦町では、南海トラフ地震が発生した場合には、各地で震度6強以上の強い揺れが予想されています。また、主に東部の沿岸部や河口付近では津波、高潮、液状化の可能性が懸念されています。

統廃合や再配置を考える上では、災害を踏まえた検討をする必要があります。



## 8 これからどんなことを考えるの?

推計結果のとおり、将来にかけられるお金は限られていることが分かっていることから、今後は、将来に渡って持続可能な施設数や面積にしていくことが求められています。

ライフサイクルコストイメージにある氷山をできるだけ小さくするために、様々な手段が考えられますが、今回のプロジェクトチームでは、東浦町公共施設等総合管理計画で定めた基本方針に

基づいて、**統廃合**について考えていきます。

### 第1回 プロジェクト チームの スタッフ写真



### ~次回予告~

- ◆令和3年6月23日(水)  
名古屋大学の教授をアドバイザーに迎え、知識を深めていきます。
- ◆令和3年7月14日(水)  
3つのグループに分かれて、再配置計画の素案を検討します。

東浦町公共施設  
等総合管理計画  
はコチラから

